

海・山・温泉・人が輝く 夢と温もりの郷

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 53

平成31年(2019)
1月24日

おもな内容

新年のごあいさつ	2
条例改正・補正予算 ほか	3~4
一般質問	5~19
委員会報告	20~22
採決一覧・議会日誌	23
みんなの広場	24

トピックス 一般会計補正予算ふるさと納税の実績増!!
ずばり!町政を問う。一般質問に14名登壇!!



成人式

平成の締めくくりとして決意を新たに歩き出す!!

(平成31年1月13日 平成31年新温泉町成人式にて
成人のこたばを述べる塩川零士さんと村尾七瀬さん)

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。日ごろから、町政や

町議会活動にあたたかいご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、開かれた議会の取組として「議会報告会」をスタートさせました。町民の皆様に参加いただき、町政への提案、議会へのお叱りや激励など、多くの声をいただきました。2年目の今年は、さらに充実させ、皆様の声を町政にしっかり届けるとともに、説明責任を果たしてまいります。

また、昨年、本町は北前船をテーマとした日本遺産に追加認定されました。今年は、美方郡産但馬牛の日本農業遺産認定の取組の正念場を迎えます。

本町の産業や歴史、文化、人々の営みが日本遺産として認定され、全国に広く認知されること

は、町民の誇りであり、産業の活性化、まちづくりの励みになると大きな期待を寄せています。

さて、2019年は亥年。「亥」には、「芽吹きに備えてエネルギーを貯める時期」という意味があるそうです。攻めの姿勢を持ちつつ「人材を育て、制度・設備を整え、財政基盤を固める」というような内なる充実を図り、次のステージへの準備が大切だと思えます。

町議会としても、議員一人一人が皆様の多様なニーズをしっかりとくみ上げ、住みよいまちづくりを最優先に取り組んでまいります。信頼され・開かれた議会の実現には、町民の皆様への参画が不可欠です。議会の傍聴や報告会への参加など積極的に町政、町議会に参画されますようお願いいたします。

本年は元号が変わる節目の年でもあります。皆様にとりまして、健康で幸多き年でありますよう心からお祈りします。

議長	中井勝
副議長	池田宜広
議員	太田昭宏
	岩本修作
	阪本晴良
	森田善幸
	中井次郎
	重本静男
	小林俊之
	谷口功
	宮本泰男
	河越忠志
	浜田直子
	平澤剛太
	竹内敬一郎
	中村茂



好調！ふるさと納税実績増！！ 寄附金3,000万円増額補正！！

12月定例会のあらまし

第91回（平成30年12月）定例会が12月5日に招集され、18日まで14日間の会期で開催しました。町提出案件は、条例案6件、事件案4件、補正予算案18件で合計28件が提出されました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、意見書1件は採択し可決しました。

条例等の改正

職員不祥事に伴い、町長と副町長の報酬を減額

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について

【可決】

説明 職員の不祥事に對して、管理者として自ら律するもの。

問 町長と副町長については理解した。支所長への訓告の内容は。

答 口頭注意である。

問 地方公務員法上の懲戒処分ではないのか。

事件案件

決した。

美方郡広域事務組合の財産の無償譲渡について

【可決】

説明 美方郡農村総合研修センターをたじま農業協同組合に無償譲渡するもの。

問 あたらな。以前提案された減額や処分との整合性は。

答 他市町の処分、減額は従前の例を考えて決定した。職員については、飲酒は故意であり厳罰とした。

その他の条例改正では、平成30年8月の人事院勧告に伴い、町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例、町職員の給与に関する条例の各一部改正。福祉医療費助成条例の一部改正が提案され、可

決した。

1,859万3,720円。相手方は株本建設工業株式会社。

問 増額分の財源は。

答 自主財源のみ。ただし、合併特例債の対象事業であり、交付税対象である。

問 金額の根拠は。

答 トイレに約330万円。残りが舗装である。

問 入札不調で随意契約となった案件だ。設計金額との関係は。

答 契約は設計金額に近いものとなった。金額は設計者が算出し、その後受注者と調整した。

補正予算

平成30年度一般会計補正予算第5号について

【可決】

説明 平成30年度一般会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1,074万5千円を追加し、総額106億

6,032万8千円とするもの。ふるさと納税の実績増に伴う基金積立増額。畜産関係工事費増額。リフレックス館工事費減額。災害復旧費増額。

歳入

問 ふるさと納税返礼品の選定についてどう管理しているか。

答 担当課で決済している。

問 要項を設けて処理すべきだ。

答 特に要項はないが、内部決済後に本人通知。常任委員会にも報告する。

問 湯村のお湯を返礼品とすることは、地元地区に説明がなかったのでは。温泉は地域住民の共有財産である。

答 財産区には事前に相談したつもりだったが、TV等の報道後了解していた。今後は注意したい。

農林水産業費

問 有害鳥獣処理施設関係で土地購入費が上がっている。場所は決まったのか。

答 塩山地域。説明会を開催し、地区の合意もいただいた。

問 隣接地域の理解も必要だ。施設内容が変更となった。建物部分の補正はないか。

商工費

問 リフレッシュ館の今後は。

答 全体をみて考える必要がある。

問 工事請負費減額と設計監理委託料増額の中身は。

答 今年度、健康風呂天井だけの改修予定だったが、全体を見直すため、工事は次年度とし減額。設計業務のみで、健康風呂全体を対

象とするため増額としている。

土木費

問 道路橋りょう維持費の減額理由は。

答 国庫補助が要望額より減額となったため、事業を調整して減額とした。

問 リフレッシュ館前の消雪、水は出るか。

答 今は出ている。水取口の点検回数を増やして対応する。

問 危険ブロック塀等撤去支援事業補助金、件数と金額は。

答 工事費上限30万円に対して20万円の補助。件数は個人住宅5戸で計上している。

その他の補正予算は以下の表のとおり。人事院勧告に伴い、各会計で人件費に関する補正が提案され、可決した。

平成 30 年 12 月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名		補正額	追加補正額	補正後予算額
一 般 会 計		110,745	5,523	10,665,851
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	270	1,805,191
		歯科診療所	113	54,136
	後期高齢者医療	△ 2,476	226,372	
	介護保険事業	30,256	1,791,942	
	浜坂地区残土処分事業	△ 40	469,164	
	温泉地区残土処分事業	27	44,232	
公営企業会計 (支出)	浜坂温泉配湯事業	26	170,292	
	水道事業	218	791,792	
	下水道事業		1,577,132	
	公立浜坂病院事業	△ 3,587	1,715,086	

反対討論

岩本修作 議員

議案第90号 新温泉町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

議員になり、これまでに多数の要望、提案をしてきたが、財政状況の厳しい中、要望通り、提案通りにならない面がある。このような状況の中で、議員の報酬を上げるのではなく、少しでもあるが、新温泉町民が安心して暮らしていく町づくりの為に使っていた、だきたい。

ずばり! 町政を問う



一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているか点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を起こし掲載しています。

頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
6	竹内 敬一郎 ①防災・減災 ②学校・教育 ③バリアフリー	13	中井 次郎 ①地元酒米を利用した、こだわりの日本酒製造と但馬杜氏の技術伝承事業 ②おもしろ昆虫化石館への提案 ③風力発電のその後の動きについて ④産業廃棄物の撤去を求める
7	森田 善幸 ①行政組織の見直しについて ②ふるさと納税について ③温泉を活用したまちづくりの進捗状況について	14	宮本 泰男 ①浜坂認定こども園整備計画について ②地域おこし協力隊について
8	中村 茂 ①結婚対策の現状と出生の状況について ②学校再編に伴う奥八田地域の要望の実現について	15	池田 宜広 ①教育全般について ②ライフラインについて
9	太田 昭宏 ①行政サービスを効率的、効果的に行うための組織と人材について ②日本遺産北前船寄港地「諸寄港」が追加認定された後の町の変化について ③子どもたちの成長と地域の活性化について	16	重本 静男 ①町長の町政運営について ②子育て支援について ③公園遊具の整備について
10	岩本 修作 ①浜坂認定こども園について ②スポーツ施設について	17	谷口 功 ①町長就任から1年、その自己評価を問う ②国際観光芸術専門職大学はどういうものか ③使用済み核燃料の貯蔵施設適用地域発表に伴う説明会が開かれているがどの様なものか ④「(仮称)新温泉風力発電事業計画」のその後はどうなっているか
11	阪本 晴良 ①風力発電について ②課の新設について ③浜坂地域の認定こども園の建替えについて	18	河越 忠志 ①「ふるさと納税制度」の認識について ②本町のまちづくりについて ③浜坂病院の運営について ④教育行政全般について
12	平澤 剛太 ①きめ細やかな教育の提供について ②廃棄物行政の取り組みについて	19	浜田 直子 ①人権施策について ②保健事業について ③定住対策としての住宅、就労対策について ④地元企業の応援

※質問は通告の受け付け順に掲載しています。

高齢者や障がいのある人が自由に移動し活動できる福祉の町づくりを

町長 町全体が住みやすい環境をつくる



車いすの人たちが入館できるバリアフリー化を



竹内敬一郎 議員



福祉の町づくり

問 浜坂先人記念館は車いすの人たちが入館できるバリアフリー化をすべきだ。

町長 土間の段差解消・手すりの設置などしているが十分とは言えない。バリアフリー化ができる部分から検討していく。

問 12年ぶりにバリアフリー法が改正された。マスタープランの作成計画はあるのか。

町長 高齢者・障がいのある人に配慮した公衆施設のバリアフリー化、普及・啓蒙活動に力を入れている。

防災対策

問 防災訓練に若年者の参加を増やす工夫が必要ではないか。

町長 地域、近隣で声をかけ合い、大人・子どもを含めて参加意識を高めていくことが重要だ。

問 12年ぶりにバリアフリー法が改正された。マスタープランの作成計画はあるのか。

町長 高齢者・障がいのある人に配慮した公衆施設のバリアフリー化、普及・啓蒙活動に力を入れている。

問 防災訓練に若年者の参加を増やす工夫が必要ではないか。

町長 地域、近隣で声をかけ合い、大人・子どもを含めて参加意識を高めていくことが重要だ。

問 12年ぶりにバリアフリー法が改正された。マスタープランの作成計画はあるのか。

町長 高齢者・障がいのある人に配慮した公衆施設のバリアフリー化、普及・啓蒙活動に力を入れている。

問 防災訓練に若年者の参加を増やす工夫が必要ではないか。

町長 地域、近隣で声をかけ合い、大人・子どもを含めて参加意識を高めていくことが重要だ。

学校・教育

問 子どもの通学荷物が増える。毎日持ち帰る必要のない教材を学校に置いて帰る「置勉」を認めるべきだ。

教育長 アンケートを各学校でしている。子ども達と接する機会を増やし、様子をつかむことが大事だ。

教育長 県教育委員会を通じて文科省から通



森田 善幸 議員



行政組織の見直しの内容は

町長 新設予定の2課を室に変更して提案する

行政組織の見直し

問 9月の委員会で温泉天国課・防災安全課の設置等の組織の見直しが提示された。1課1係で課とする意義があるか等、意見が出されたが、その後見直し案を修正されたか。

町長 現状の人員体制横の連携を検討する中で、課よりは室のほうが良いという結論に至った。

問 今後提案される温泉天国室の事務分掌は、

現状の温泉未来係とどう異なるか。

町長 業務の内容はほぼ一緒と考えている。より機動力を発揮するために、室長、その下に職員を配置して充実を図る。

問 どの課も人員不足の中、温泉総合支所から人員を出すということにならないか。

町長 逆に町民センターに温泉天国室を設置することによって、温泉支所の機動力アップにつながる。

問 場所的には同じだが、支所長の管轄と、本庁の管轄ということでは意味合いが違う。合併以来、総合支所の機能がどんどん本庁に移管している。地域の要望で支所機能の充実が出ている。支所の権限

を移管するようなことは慎重にすべきでは。

町長 町民センターに温泉天国室を置くことで人員が増える。支所機能全体としては、力は強化すると考えている。

問 行政組織の見直し

について三つ提案したい。現状総務課は、財政と人事という大きな権限と仕事量がある。今後総務課は職員人事、法令順守、接遇改善研修の強化、各課の横の連携等組織の改善に集中し、財政は新たに財政課を設けるか総合計画を担当する企画課に合わせ企画財政課にすべきと思うが、町長の見解は。

町長 新たな課の設置については、非常に難しい。企画の範囲は大変幅広いものがあるが、企画財政課という考え方は、今後の検討課題になると思う。

問 移住定住策は今後本町の重要な課題となる。事務分掌には載っていないが、事務は商工観光課が担当している。今後人口ビジョンの担当の企画課内または、新しい課で、移住定住推進室として設置すべきでは。

町長 今回、商工観光課の事務分掌の中に追加する予定である。

問 高齢者の交通政策の所管が企画課や健康福祉課に分かれているが、一つの課が所管して、推進すべきでは。
町長 交通政策の一本化は重要な課題だと思いが、現状の2課の連携をより緊密にすることで、対応できると考えている。



合併以来、職員数と権限が徐々に削減されてきた温泉総合支所、今後のあり方は？

少子化対策の根本は結婚できる環境づくり

町長 施策を一つずつ打っていきたい



中村 茂 議員



問 本町の結婚対策の取組と位置付けは。関係団体などが主催する婚活イベント等、成果はあるのか。

町長 結婚は少子化対策としてとらえている。現在、婚活イベントは平成26年度から商工会青年部が開催し成果があった。しかし年々参加者が減少し、残念ながら本年度は開催できない状況。連携中枢都市（鳥取1市6町）で婚活イベントを実施予定である。

本町の未婚者は男性447名、女性204名

問 本町の未婚者を30歳から44歳で見ると、男性が447名、女性は204名で、増加の傾向である。本町独自の対策が必要と思うが、ひようご縁結びプロジェクトは承知か。

町長 結婚は出会いの場が基本である。町全体で少子化問題、結婚問題、婚活については意識を変えていく必要がある。

企画課長 同プロジェクトについては承知し

ている。

問 本町に結婚相談所は存在しているのか。

町長 結婚相談所はない。但馬内で本町以外は社会福祉協議会が運営している。本町も過去に打診した経過がある。今後、積極的に社会福祉協議会とも話し合いを進め、推進を図りたい。

問 本町の婚姻届の傾向はどのような状況か。

町長 平成20年が69件、本年11月30日現在35件で減少傾向である。

合計特殊出生率は全国平均以下

問 結婚と出生は一連と見るべきだが出生数の状況は。本町の出生率は平成17年国勢調査1.8で但馬トップだったが、その後の変化は。

町長 出生数は平成21年118人、平成26年86人、平成29年70人で6割に減少。本町の特殊出生率は平成27年国勢調査1.43、兵庫県1.48、全国1.45で、残念だが全国平均より低い状態。一方、香美町1.82、豊岡市1.71で上昇している。今後、施策を一つずつ打っていきたい。

問 豊岡市は「縁結び



結婚は人生最大のイベント。幸せな家庭づくりは町づくり全般に反映される。少しの“お節介さん”に期待したい。

さん”を立ち上げていく。結婚対策を体系化して、市が直接すること、社協がすること、団体や企業がすること、を明確にして、市が全体をバックアップするチームができて上がっている。参考にすべき。

町長 いろんな事例を紹介いただいた。改めて他市町の状況等を含めて現状を研究しながら、推進を図っていき



太田 昭宏 議員



行政サービスを充実させる人材と組織

町長 具体的な施策、住民とのかかわりで新しい風

活力のある組織

問 行政サービスをさらに充実させるためには、組織の活性化が大切であると考えが。

町長 環境を整備し、働きやすい状況を醸し出す。それが結果的に、住民の福祉の向上につながっていく。

問 意見交流や情報の共有、ハラスメントへの対応など、組織としての風通しはどうか。また、服従規律の徹底はできているのか。

町長 意見を聞くことは重要であり、偏ることなく意見交換を行っている。対応は、人権、接遇、公務員倫理等の研修を行い、公務員としての自覚の徹底を図っている。

問 心配なく働くためには、勤務時間、健康管理は大切である。

町長 適切な勤務体制が整っている。健康については、職員全体で注意を払い、専門的には産業医に相談するなどしている。

日本遺産北前船寄港地諸寄港の認定後の活動

問 住民の具体的な活動の一つとして、日和山公園に水仙を植えて

水仙郷にしてはどうか。また、日本遺産は子どもたちへの大きなプレゼントである。シンボルマークやお土産用の包装紙の図案などを子どもたちに考えてもらってはどうか。

地域の活性化と子どもたち

問 人が集まる活動の拠点、避難所にもなっている公民館に、人の配置を増やすこと、インターネット環境の整

町長 歴史や文化は地域に根差すことが最も大切。地区の役員、区長等を交えて検討する。

備はできないか。**生涯教育課長** 公民館協力員を数名お願いしている。インターネット接続は考えていないが、課題としたい。

問 不登校児童生徒の保護者が、相談できる場所や町の対応はどのようになっているか。

教育長 子ども相談室が勤労者体育館の中にあり、週二回担当者が対応している。必要に応じて、健康福祉課とも連携している。

問 地域の活性化には、地元に残って貢献する人材と、地元を離れてもかかわりを維持しながら貢献できる人材が必要である。かかわりの原点は、子どもの頃の地域での体験である。

教育長 よりよい体験を重ねることが、ふるさとを愛し、誇りに思う子どもたちを育てる町づくりにつながる。



日本遺産北前船寄港地 諸寄港の新年

浜坂・大庭認定こども園統合を検討しては

町長 今後の方向性、再度検討していく



岩本 修作 議員



浜坂認定こども園 について

問 現在の浜坂認定こども園の場所が、浸水想定区域外と県から公表されているが、災害は想定外という事も考えられる。現在の場所は大雨・台風でも浸かるような場所、そのような場所に、なぜ建替えをするのか。一番に園児が安全・安心して教育を受けられる場所を検討しては。

町長 これまでの経過の中で、現在地が適当だという方向がでている。やはり、検討委員会の結論が大事。今後、

検討委員会の報告を待ちたいと思う。

問 大庭認定こども園の耐震診断をしているが、診断結果で建て直しとなった場合、浜坂認定こども園と大庭認定こども園の統合は考えないのか。

教育長 それぞれのこども園を存続させたい。今後、教育委員会で議論を深めていく。

問 この先、園児の数が減っていく中、10年後、20年後を見据え、大庭認定こども園との統合も視野に入れて検討してもらい、検討委員会のメンバーに、大庭認定こども園の保護

者や関連している方に入ってもらえたら、違った角度で意見が出るのではないか。

町長 10年後、20年後には子供たちの数も大きく変化する。職員体制も非常に厳しいものがある。その点を判断しながら、今後の方向性を再度検討していく。

スポーツ施設について

問 前町長の頃から、旧温泉高校跡地に、サッカー場をつくっては、と言ってきたが、西村町長はどのように考えているのか。

町長 サッカー施設の勉強会に行き、従来から非常に高額な工事費用も、技術革新により安価で建設ができる。また、ヴィッセル神戸とのつながりができ、少年サッカーチームのコーチを招いて、勉

強会を予定している。将来展望を考えれば、サッカー場をつくる事によって、町の活性化につながる事ができると思う。

問 今後、山陰近畿自動車道が全線開通した際、9号線を利用する方が減少する中、温泉地域にサッカー場がで

きれば、大会等でたくさんの方が来られる。スポーツを通じて新温泉町のPRになるのでは。

町長 新温泉町がストロー現象で観光客が減少することがないよう、将来展望を踏まえた上で、サッカー場建設に力を入れていく。



サッカー場への活用で、町の活性化につながる。



阪本 晴良 議員



支所機能と支所長の権限は

町長 事務分掌上は減っていく、支所長権限は非常に薄れている

風力発電施設の計画について

問 6月以降の経過はどうか。

町長 6月26日に町長が県に追加意見書を提出。同日議会が県に意見書を提出。7月28日に県が方法書にかかる意見書を経産省に提出。8月10日に「いのちをつむぐ会」から建設反対の陳情を受けた。10月1日会社が事業ごとの経費管理のため社名変更したと報告を受けた。

問 今後のスケジュールは。

町長 事業者により、12月に猛禽類とコウモリの調査予定。今年度中に説明会を全体と集落単位で実施予定。また、事業者が現地調査を経て平成32年度中に準備書を作成した時点で、町長が県知事へ意

見書を提出する。工事着手は予定より1年半遅れの平成34年1月頃となる見込みである。

問 越坂区の産廃処分場建設の住民投票条例に習い、条例を制定してはどうか。
町長 考えていない。
問 町長は建設に反対しているが何か方策は。



今後も経過に注目（写真は鳥取放牧場風力発電所）

町長 できることは意見書の提出のみで限界がある。地権者と話し、土地売却をしないように対応したい。

る。また浜坂認定こども園は豪雨時には道路の浸水が著しい。温泉地域との整合性など課題は多いが、2園存続は教育長の思いか。

問 温泉天国室の経済的な目標数値は。

教育長 教育委員会で結論は出てないが、2園で存続の願いは確認できている。現在は途中経過であるが、子どもは地域で育てる方向性が出ていたので、そこは大事に進めたい。

町長 湯村温泉宿泊客をこれまでのピークの34万人を目標にしたい。

問 スケジュールはどうか。
教育長 大庭認定こども園の耐震診断報告が1月中にあり、予算との絡みで1月が大事と思っている。12月教育委員会でも議論したい。

町長 事務分掌上は減少するが、人的な機能充足を図りたい。

問 教育長は、この建設問題でもリーダーシップを発揮しなければならぬ。8月の教育委員会の議事録でも明らかかなように信頼関係が薄いと思う。

問 そうなると支所長は議会出席が無くなるのか。

教育長 教育行政のトップとして襟を正して努力してきた。

町長 支所長の権限は非常に薄れている。今後検討していく。

浜坂認定こども園の建て替えについて

問 浜坂地域の園児が10年後には約半数にな

る。また浜坂認定こども園は豪雨時には道路の浸水が著しい。温泉地域との整合性など課題は多いが、2園存続は教育長の思いか。

複式学級への対応、保護者に説明を

町長 不安感をできるだけ早く取り除き、メリットを伝える



平澤 剛太 議員



小規模校の特色を活かせ

問 各校の工夫と、地域との連携でふるさと教育を行っているが、町としての取り組みは見えない。

教育長 独自性に任せている部分はある。町として方針を持つことも意義があると思う。

問 31年度浜坂東小学校には複式学級ができる。その準備は。

教育長 学校との連携を密にし、管理職を中心に対応する。

問 保護者は不安を抱えている。

こども教育課長 教育事務所から、継続性を

見通した説明をと指導されている。

不登校生徒に教育の機会を保障する場は

問 保護者への取り組みも必要では。

教育長 福祉的な面も含め、学校を拠点に取り組んでいる。

問 対象児童の家庭と学校現場に意識の差がある場合も考えられる。保健室登校・放課後登校は出席日数で進級し卒業してしまう。子どもが教育を受ける権利をどう保障するか。

教育長 基本的には学校で保障すべきもの。

いかに教室で授業を受けられるようにしていくかが重要だと思う。

問 義務教育で求められる教育は、将来子どもが自立して生活するために必要なものだ。卒業までも、卒業後も、教育を提供できる受け皿が必要では。

教育長 学力保障、卒業後のことを含めて、大事な部分だと認識している。

放課後児童クラブについて

問 国の基準が緩和される。現在は浜坂北と温泉に各1カ所。その他校区にも需要があるのでは。

教育長 現状どおりで行きたい。

現在、8月の平日利用は定員いっぱいだ。他の校区での開設に向けて、ニーズ調査が必要では。

こども教育課長 職員

基準1名でも可能となったが、支援の必要な子もいる。質を維持するために難しい。

事業系発泡スチロール手数料の見直しを

問 産業廃棄物を町が受け入れる趣旨は。

町長 ごみ処理広域化に伴い、地元事業者を保護するためだ。

問 本年度から、リサイクルセンターで回収後の処理が変わった。それにより、処理費用

を処分業者に支払う必要もなくなった。指定ごみ袋の金額を改定すべきだ。

町長 町全体のサービスの一環としてやっている。ここだけをもって論じるのは難しい。

問 そもそも収集袋とあるが、実際は収集ではなく持ち込みである。根拠が変わったのだから、指定ごみ袋の金額を見直すべきだと提言する。

町長 今後の検討課題としたい。



回収後の発泡スチロールは加熱圧縮。燃料として売却され、町の収益となる。



中井 次郎 議員



昆虫化石の寄贈を働きかけよ

町長 やつてみたい

おもしろ化石昆虫館への提案

問 八田コミュニティセンターの一角にもおもしろ昆虫化石館は設置されている。これは平成8年に建てられた。なかなか入館者が増えない理由は、展示物も拡大鏡で見なければならぬことが原因だ。ところが、海上から発見された化石は大変たくさんあり、旧温泉町が出版した書籍「温

泉町の昆虫化石」を読むと、少なくとも70種、1,000体が発見されている。しかも、大きさは1.5ミリから4.3センチ、こういった大きなものまである。これらの化石は1964年8月に、4人の女子高生によって発見された。テレビや新聞などが全国に報道して、有名になり、研究者が押し寄せ、研究を目的に化石を持ち帰ってしまった。クワガタムシ科の化石発見は、全国で初めて発見されたと言われている。また、カエルとかトンボが原形をとどめて、本当に岩にへばりついているように見えたと言われている。

本の中では、当時の教育長・山本勝正氏と町長・村尾保一氏、この二人は町民の宝として大切に保存し、後世に伝えなければならぬいと述べている。この本の中には研究者の名前も書いてある。こういった方々にぜひ、採取した化石を昆虫館に寄贈していただけないかと働きかけをするべきだ。ぜひその取り組みを求めたい。

町長 この八田コミセンおもしろ昆虫化石館は、平成8年に開館して以来、地元の小学校を中心に、郷土学習事業の一環として、幅広く町民の方々、それから町以外の方々も利用している。平成23

年度の利用実績が3,128人、それから平成25年度が2,921人、平成27年度が2,898人、それから平成29年度、去年が2,554人と、少しずつ減っている。御指摘のとおり、展示資料の入れ替えなどが大変少ないため、再来館者の減

少につながっている。魅力が減っていると感じている。先ほど提案された、昆虫化石の採集にかかわった方々に、改めて御自身の所有している化石を御寄贈いただくよう、お願いをしたいと思っている。



イベントだけでなく、抜本的な展示の更新が必要だ。

浜坂認定こども園の早期整備をのぞむ

町長 浜坂認定こども園を先に改築してもよいと思う



宮本 泰男 議員



浜坂認定こども園早期整備計画について

問 平成28年5月に整備検討委員会が設置され、浜坂すこやか広場を選出したが、29年11月に候補地の再検討要望書が提出されるなど一定の合意に至らなかった。30年3月に兵庫県津波調査結果で、浜坂の予想最高津波水位は4.1mと発表された。現在の園舎は周辺を含め浸水想定区域外であった。これを受け現在第2期整備検討委員会が開かれていて、9月議会において、周辺の土地鑑定予算案

が否決された。整備計画がいまだに決定されていない。否決の理由をどう受け止めるか。

町長 検討委員会の最終報告書が出ていないとの理由だと思う。検討委員会の意見を尊重して対応する。

異論に対する熟議、意思統一どうするか

問 浜坂の津波の心配がなくなり、移転不要との議論についてはどうか。

町長 現在地に建て替えても安全である。大庭を優先すべきではないか。

町長 両園とも築40年経過しており、浜坂を先にしても問題ないと思う。

問 少子化を見据えて統合を考慮せよとの意見についての見解は。

町長 園児の減少、保育士不足もあるが、園を地域に近いところにおく。規模、通園時間、通園バス等問題点がある。2園存続が前町長、前教育長の方針であった。私も同じ思いである。教育委員会での問題を検討することになる。

浜坂認定こども園は危険建物である

問 浜坂は耐力度測定の結果、危険建物と判定された。早急に改築すべきと思う。

町長 早急に直すか建替えるかを考えている。省基準があり、危険建



子ども達のために早期の結論を

地域おこし協力隊事業で経済活性を図れ

物になるということで移転改築を進めている。これが前提になり、交付金事業につながる。

地域おこし協力隊事業について

問 協力隊の現状は。

町長 26年からスタートし現在7名が隊員として活動している(空き家、移住定住促進担当1名、道の駅担当3名、但馬牛生産振興担当3名)。

問 優秀な人材を確保するには交付金(活動費)を、情報収集、事業推進に必要な研修、必要な備品(パソコン、車両等)購入等に充当すべきである。

町長 協力隊の本来の目的は3年後に本町に残って事業を興してもらうことであり、起業した3名は高く評価できる。今後も支援していく。



池田 宜広 議員



今後の「水」、安定供給はできるのか

町長 収支の不足額の克服が課題である

老朽化が著しいライフラインの更新は

問 国では、水道事業の民営化法が通過したようであるが、これに対し、どの様に思うか。

町長 これについてはいろいろな問題、課題があるように思う。水道法の一部が改正され、民間事業者が参入できる。人口減少に伴う水需要の減少、水道料金収入の減少、水道施設の老朽化等に対

し、水道基盤の強化を図るため、水道基盤強化計画の策定、水道事業者等による水道施設

台帳の作成など、民間との連携を行うことは有効であると考えてる。

問 本町では今後どの様に対応していくのか。

町長 当町は直営で運営をしている。老朽化施設等の更新投資による収支悪化、知見豊富な職員の退職等の状況は、他の市町と同様であると認識している。将来にわたり安定供給を維持していくためには、中・長期的な収支見通しを明らかにし、収支を均衡に、または黒字を確保することが必要と考えているが、収支の不足額をどう

克服するかが大きな課題。そのため、今年度、経営戦略を策定中である。

問 戦略を策定中とのことだが、どの様な内容なのか。

町長 計画期間は10年



老朽化が著しいライフライン、基盤強化が急がれる。

間だが、給水人口に合わせた計画的縮小、民間事業者のノウハウ等の活用及び業務に合わせた委託料金の改定を

計画の中で検討する。

問 早急な対応が急がれるが、確実な内容の策定を提言する。

町長 何事も急げという方もおられるが、教訓として、急がば回れで頑張っていく。

教育方針は現状でよいか

問 改善が必要な部分はないのか。

教育長 改善というより、課題は生きる力というところで、知・徳・体の部分である。この事は常に頭に置いておく必要がある。現状分析をしながら進めることが大切である。

問 町全体で学力が向上しているようだが、全体の底上げになっているのか。

教育長 各学校、多少の高低はあるが、全体で底上げになっている。

問 この町を背負っていく子どもへ、ベストを尽くしていくべき。

教育長 その様に尽力していく。

観光ルートの構築を

町長 近隣の市町と連携を軸に方向性を打ち出す



重本 静男 議員



ふるさと納税の寄付金 用途について

問 今年度、目標の1,000万円を大きく超えており、真剣に取り組んだ結果と思う。用途を限定しない寄付金は、町長の裁量で決定してはどうか。

観光スポットルートの構築

問 町内には、温泉をはじめ、道の駅「浜坂の郷」など多くの観光スポットがあり、町民

バスで周遊する観光ルートの構築を提案したい。

町長 山陰海岸ジオパーク、麒麟のまち観光局との連携を軸に、町内では、温泉めぐり、山岳コース、グルメコース、文学・歴史コー



牧場公園にも町民バスは停まらない。

スなど色々なコースが考えられる。来町者が増える方向性を打ち出したい。

問 将来的に道の駅「浜坂の郷」に定期バスの乗り入れの考えはないか問う。

町長 現在の状況では少し難しい。今後検討したい。

町民との町づくり懇談会

問 町長の町政運営に、町民の声を直接聞く町づくり懇談会は、継続すべきと思う。今後の

予定を問う。

町長 常日頃から町民の中に入る、出向くことが基本である。商店街の方、子育てのお母さん、土木建築業の方など積極的にやっていきたい。

子育て支援について

問 少子化、人口減少に歯止めをかけたい本町の重要な施策は、出会いから結婚、子育てまで切れ目のない支援が必要と思う。その中で、婚活推進事業の現状と今後の対応を問う。

町長 現状では、1市6町、麒麟のまち観光局で婚活推進事業に取り組んでいる。婚活サポートセンターの利用を通じて出会いの場を作っていくきたい。

問 国が2019年10月より、3歳から5歳までの幼児教育・保育を無償化という報道が

ある。本町においての、無償化に伴う対策を問う。

こども教育課長 無償化に伴う保育需要の高まりということで、現在検討している。また、待機児童が出ないように調整している。

公園遊具の整備について

問 こどもが元気に屋外で遊べる公園の遊具の充実を図る施策について問う。但馬牧場公園に大型の遊具を設置する計画は。

町長 以前から遊具をもっと設置して欲しいと意見が出ている。

牧場公園長 但馬牛博物館がリニューアルオープンした。次のテーマはグレンデの老朽化した人工芝の改修工事を優先し、遊具の設置は今後検討する。



谷口 功 議員



主権者は町民一人ひとり

町長 地域の知恵を結集してやっていく

私事誠に恐縮ですが骨折治療で長期入院の為、大変御迷惑や御心配をおかけしたことを心からおわびを申し上げます。

町長就任一年の評価

問 町長就任一年の自己評価を問う。

町長 議員時代はしゃべりつ放し、思いのまま議会で話をしてきたが、町長になると、議員時代のような言い放しでは済まない。責

任というものがどうあるべきか、その重さを感じている。

町村合併の評価

問 町村合併をどのように評価しているか。

町長 人口減少、高齢化に伴う集落維持、環境の変化等、合併は基本的に失敗だった。

機構改革は熟慮を

問 組織・機構の見直し案は熟慮すべきではないか。

町長 温泉天国室、防災安全室をぜひ進めた

問 室長の職階はなにか。組織の均衡が図れるか。

町長 副課長を充てる。制度上は何の問題もない。

公共施設等総合管理計画とは

問 公共施設等総合管理計画、立地適正化計画とはどういうものか。

町長 公共施設の老朽化が全国的に問題となり、総務省より公共施設等総合管理計画の策定が求められ、わが町も平成28年度に計画を策定、公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図るとしている。

問 結局、合併で類似施設が多くあり、人口減少の下で利用需要が低下する。そういう中で維持管理・更新が大変だから整理を求められる。立地適正化計画も、国土交通省が公共交通機関のネットワーク化と、町の中核施設を一定区域に集中させて維持管理がしやすいようにせよという発想

だ。それは更に人口減少を加速させるものではないか。

町長 急速な人口減少の中で、そういったことを狙った政策の一つだと私も考えている。

わが町の財政状況は

問 わが町の財政状況をどのように把握しているか。

町長 普通会計ベースの平成29年度末地方債残高は137億円、町全体では223億円、投資的事業を抑制し、

町債の発行を最小限とし、借金の返済を後の世代に先送りすることは避けなければならぬ。財政の健全化を図る必要がある。

問 国がコンパクトウーンや広域連携などを強調し、依然として町財政が厳しいもでは、町長の「選挙公約」の見直しが必要ではないか。

町長 財政は厳しく、少子高齢化。こういう中で何とか歯止めをかけたというのは、各首長の共通した思いだ。



財政とのバランスを考えながら、町の将来を見据えた計画が求められる。

ふるさと納税制度の更なる活用促進を

町長 町民の意見を聞きながら進める



河越 忠志 議員



ふるさと納税制度の積極的活用を町長自らが発信すべき

問 ふるさと納税制度は、ふるさと創生を目的として総務省が作った制度だが、その趣旨の認識は。

町長 制度には賛同できないが、地元産品を返礼とする取り組みが地域の活性化とPRにつながるから、いいところ取りする立場で、活用したい。

問 この制度は財源不足の地方自治体が自主財源を確保するために政府がつくった制度だ。町長は「お金があれば何でもできる」と言わ

れながら、「お金のために、この制度に取り組みたくない」と発言される姿勢が、この町のふるさと納税制度活用の盛り上りを妨げていると思うが。

町長 5月からの取り組みであり、皆さんの意見を十分に聞きながら進めたい。

浜坂駅前を町の顔として整備すべき

問 浜坂駅前は町の顔の一つとなるが、県道の整備だけではなく、町が積極的にまちづくりの提案をすべきではないか。

町長 浜坂駅前商店街

の皆さま、住民の皆さまと懇談会を持って、ご意見を伺っている最中である。

問 過疎の町では、民間活力だけに頼った中心市街地のまちづくりは、大変困難である。町が率先して公共事業としてのまちづくりに取り組みべきであり、勉強すべきであると考えるが。

町長 浜坂駅を中心とした活性化は重要な課

題だと思う。町が取り組む場合には、合意形成が重要であり、話し合いからスタートしなければならぬ。

問 今の情勢では、居住環境、雇用促進、にぎわい増等、効果が複数期待でき、負担の少ないまちづくりを早急に検討すべきだ。

町長 温泉を利用したまちづくりのアイデアがたくさんあり、少しずつ実施していきたい。



本年、元旦の浜坂駅前

浜坂病院のあり方について町長が認識を発信すべき

問 浜坂病院のあり方検討委員会が設置されているが、町長として、あり方をどのように認識しておられるか。

町長 あり方の検討を委員会にゆだねている段階であるので、意見は差し控えたい。

問 町長は病院経営の最高責任者は御自身であると明言された。検討を依頼する場合、前提条件により、答申内容が変わるはずだが、命を守る今の医療体制を維持・進化させることが前提となるのではないか。

町長 多くの町民が、その理想を持っていると思うし、私も同感だが、現実には厳しい。あり方検討委員会の答申を総合的に判断したい。



浜田 直子 議員



町づくりは、人づくり、人権を推進すべき

町長 人の権利を大切に、みんなで素晴らしい町を作る

人権施策について

問 人権啓発推進条例制定の町として、人権に対する思いと対策は。

町長 人の権利を大事にして、みんなが素晴らしい町を作る。今の活動や普段からの学習会、コミュニケーションも大切である。

問 今後の取り組みと男女共同参画センターの設置は。

町長 現状に加え、もっと一人ひとりが話し合える場が重要。文化

会館での指導員等の活動を高める。

保健事業について

問 手厚い保健事業であるが、時代に沿う更なる展開を求む。

町長 幅広く対応している。予防接種については、予防接種法内で対応している。

問 小児のインフルエンザ予防接種の補助と風疹予防接種、風疹抗体検査、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種等が受けやすくなるような対応を求める。

町長 風疹については、国の動向に合わせる。

問 近隣町では、産後ケアが幅広く対応されている。当町では。

健康福祉課長 保健師の人数が限られているが、

できる方向でしていきたい。

問 保健師の業務が多岐にわたり多くなっている。増員し、連携をとりやすくするためのシステムとしては。

町長 検討する。

定住対策としての住宅、就労対策について

問 具体的な就労対策・企業誘致はどうか。

町長 職業紹介や企業ガイドブックを高校卒業後約3年経過した実家へ送付し、大阪で企業説明会を行っている。

問 移住定住案内の成果は。

商工観光課長 利用はあるが、実際の移住はない。

問 移住定住に向けた情報が伝わりにくい。

ある町では、ホームページも分かりやすく、様々な支援をしている。

町長 移住定住のPRも実績も少ない。魅力ある町なので力を入れる。

問 町の活力、イメージが楽しくなるよう、年間を通じて活動できる健康維持施設が必要。

町長 子育てからお年寄りまで総合力で移住定住が増える。町の全体力のレベルアップを考える。

問 実家が新温泉町の家族、町外から嫁いで

くださった方達の集いの機会を増やすよう求める。

地元企業の応援

問 新温泉中小企業等振興条例が定められているが、特殊な工事や設計では町外の業者になることもある。なるべく地元業者になるよう求める。

町長 地元企業があつて地元が栄える。極力地元でしたい。



移住定住の対策の一つとして、新温泉町のたぐさんの魅力と、子どもから高齢者の手厚い福祉、就労対策等が、より広く伝わるようPRを。

総務教育常任委員会

12月13日開会

いづも教育課

複式学級について

Q 浜坂東小学校の複式学級を避ける工夫とは。

A 専科の職員を配置して複式にならないよう努めている。加配は1校1学級だが、更に行えないか、県と相談していく。

浜坂認定こども園改築について

Q 11月の検討委員会の出席者が少ないが、意見把握ができていますか。

A 招集にやや無理があった。新年度予算に間に合わせるためにも、1月中を目標に、議論を尊重しまとめていただく。

Q 教委、検討委員会の各議論の結果を受けて、どこが最終決定を行うのか。

A 地域の声を含め、議論が整った段階で町

長が決定することになる。

Q 地域の声を聴くとある。教委、検討委員会どちらの作業か。教委の議論中に「地域やふるさと」の表現があるが、どこを指すのか。明星認定こども園のこども検討すべきだ。

A 地域の声は教委の責任分野、ふるさととは町全体、明星も同列で捉えている。

Q 現在地ではいろいろな意見がある。水害が起きたとき特に危険なものは。

A 他の候補地と比べて総合的な判断で選ばれた。水害については充分論議を深めていきたい。

生涯教育課

北前船寄港地について

Q 北前船寄港地諸寄について、新しく文化

財に指定されたら案内板を作るべきでは。

A 北前船の案内板と併せ解説看板を設置する。夢ホール耐震改修について

Q 夢ホール耐震診断改修について県の評価委員会の評価をなぜ受けないのか。

A 学校施設には耐震化事業において評価の義務があるが、同ホール関係には義務が無い。今回は中間報告であり理解願いたい。予算段階で詳細を出す予定にしている。

税務課

Q 支所の職員が停職処分になったが、申告相談の対応は例年通りできるのか。

A 限られた人員のフル活用と、支所職員全員の応援で対応する。

企画課

交通施策について

Q 湯めぐりエクスプレス、福祉タクシー等交通政策も多く要望がある。利用者の視点で対策を講じるべき。

A 引き続き日交との交渉を進める。福祉タクシーは担当課で範囲の拡大を検討している。

風力発電について

Q 風力発電のその後の動きはないか。

A 事業者に提出した意見書に沿って、今年度中に、集落ごと以外に、浜坂・温泉地域での説明会の開催を求めている。

地域おこし協力隊について

Q 現在の協力隊は男性が主だが、女性の応募はないのか。

A 性別、年齢制限はもうけていない。次年度募集では女性1名の応募がある。

総務課

財政計画について

Q 人口が減った影響は。会計任用職員の制度化に伴う経費は反映されているのか。

A 人口減少で地方交付税が落ちている。会計任用職員は労働基準法の格差解消で、臨時職員や嘱託職員の処遇の改善、任用の明確化で、平成32年度から実施、計画に反映している。

行政組織条例の一部改正について

Q 9月に2課新設の提案から室に変更するなど、当局の意見がバラバラで煮詰まっていないのか。

A 課の設置は直前まで議論し、現プランになった。町民のため、行政推進にも効果がある。事前に意見を求めることができなかった。お詫び申し上げます。

委員会報告



合併して13年、行政組織の見直しは必要だが、関係部署との十分な協議が必要

Q 湯財産区議会には事前に伝えたか。
A 不十分かもしれないが担当が内容を伝えた。反応は承知していない。

Q 支所の権限の一部が本庁に移管される案である。一方で支所機能の充実の要望がある。正面から支所のあり方を議論すべき。
A 町全体のレベルアップが必要、狭い組織論を脱皮し活性化すべき。充実のために組織の改革を行うものがある。

採決の結果、可否同数となり、委員長は否として否決。その後本会議への議案の提出は見送られました。

産業建設常任委員会

12月12日開会

牧場公園課

報告事項

来園者の状況

平成30年4月～11月
 12万2,830人
 (対前年比96.5%)

新温泉町但馬牛管理技術習得支援プログラム事業実施要綱の一部改正について

但馬牛ファンクラブ

第1回ファンミーティング開催11月24日

農林水産課

協議事項

肉用牛生産施設建築工事請負変更契約の締結

トイレ棟・舗装工事の追加

1,448万1,720円増額(全体額1億1,859万3,720円)

契約者 株本建設工業株式会社

有害鳥獣処理施設整備事業

二次加工施設(製品加工)(販売)

新温泉町一次加工施設(個体解体)

シカイノシ

肉、皮、骨

残渣：頭、つま先、内臓

クリーンパーク北但(焼却処分)

施設概要

建設課

都市計画道路浜坂駅港湾線整備事業

事業期間 平成31年度～35年度
 区間 新温泉町芦屋字西岡～浜坂字東岡

商工観光課

報告事項

道の駅「浜坂の郷」

営業実績(開業1年間の総括)

来場者数 年間目標 9万8,543人

年間実績 10万9,322人

売上高目標 (110.9%)

売上高実績 1億3,777万円

売上高実績 1億4,054万円 (102%)

リフレッシュ館健康風呂改修

予定工期2019年6月～12月(休館は9月～11月)

旧温泉高校について

AQ 今後の活用方法は、鑑定結果を踏まえて、年度内に次年度へ向けた検討を行う。

環境福祉常任委員会

12月13日開会

町民課

住民基本台帳人口

Q 本町における外国人人口は。また、その内、技能実習生の数は把握しているか。

A 外国人の人口は121名、その内、技能実習生は83名（男性45名、女性38名）が登録されている。

Q 本町の外国人の中に、日本の医療制度の適用目的だと疑われる人はいないか。

A 短期での入国者の多くは技能実習生。男性は漁業、女性は縫製と食品加工に従事しており、該当者はいないものと認識している。

廃棄物処理施設の取り組み状況

Q 本町としての現在のごみ処理コストを確認し、町民負担を再検討すべきではないか。

A 発砲スチロール等に関して、検討する予

定にしている。

一般廃棄物処理基本計画の策定について

Q 時期が2019年10月に策定する予定との報告だが、廃棄物の量の推計をしないままでは、目標数値の設定ができないのではないか。

A 量の推計はできないが、ごみ処理基本計画策定指針（環境省）の規定の策定期間を経過しており、豊岡市・香美町との関係を踏まえた上位法令変更との整合性を図るため、計画の見直しを行う必要がある。

Q 粗大ごみは、クリーンパーク北但への住民の直接搬入が増大しているが、本町の収集回数が足りないことを物語っているのではないか。

A 大型ごみの収集回数を増やす方向で検討する。

健康福祉課

介護予防・日常生活支援サービス費の給付状況

Q 家事援助事業給付が2倍近くまで増加しているが、事業所の人員不足は生じていないのか。

A 絶対量が少ないため、事業所の対応は可能な状況であるものと認識している。

上下水道課

下水道接続状況について

Q 大型民間施設の接続勧誘の反応は、どうか。

A 各事業者とも既存施設の維持費との比較或いは浄化槽の更新費用を想定しての検討をされている状況である。

浜坂病院

入・通院の利用状況

Q 利用状況はどうか。

A 通院は9月に減少したものの、本年度としては昨年並みの利用となっている。入院は、新年度から改善し、病床稼働率は年度内平均でも約80%を維持している。

浜坂病院あり方検討委員会について

Q あり方検討委員会は、病院のあり方は検討してくれるが、本町の福祉環境、雇用等を



報告が待たれる「あり方検討委員会」

含む町全体の検討はできないのではないかと答申（方向づけ提案）を総合的に判断し、

Q あり方検討委員会の病院改革案の中に看護師不足を解消するための介護老人保健施設ささゆりの縮小も選択肢にあるが、入所需要もあり、町民に不便を強い、本町の負担だけは残る。更に消費と雇用が流出することになるが、どうか。

A 決定ではないので、今後、最終判断する。

意見書

●防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書

【可決】

陳情・要望

●「子ども・子育て支援新制度」にかかわる学童保育に対する陳情書

●商工会に対する支援要望について

一般質問の動画
QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。

スマートフォンをお使いの方は、QRコード読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることが出来ます。



第91回定例会 議案採決一覧表 (H30.12)

議員名	議案名																賛成	反対	採決
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
	池田宜広	太田昭宏	岩本修作	阪本晴良	森田善幸	中井次郎	重本静男	小林俊之	谷口功	宮本泰男	河越忠志	浜田直子	平澤剛太	竹内敬一郎	中村茂	中井勝	9	6	可決
新温泉町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	-			

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない (全員賛成議案は省略)

議会トピックス

「全議会日程の中継を」当局に申し入れ

照来地区区長協議会から昨年度に続き、ケーブルテレビ中継並びにインターネット配信による「本会議並びに各委員会の中継を」との要望がありました。この件については、12月議会全員協議会で議論し、全議員一致で実現するよう当局に申し入れることになりました。

昨年度も同様の申し入れをしましたが、当局は設備・職員の不足を理由とし、残念ながら実現しませんでした。

議会としても、より「開かれた議会」を目指して、強く要望していきます。

議会日誌

(10月)

- 1日 兵庫県町議会議長会正副会長会議・議長会評議員会議 《神戸市》
- 2日 美方郡広域事務組合議会定例会
- 3日 北但行政事務組合議会運営委員会 《豊岡市》

- 4・12日 議会広報調査特別委員会
- 12・19日 北但行政事務組合議会定例会 《豊岡市》

(11月)

- 22日 議会運営委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 26日 第90回新温泉町議会臨時会
- 31日 市町正副議長研修会 《神戸市》

- 5日 環境福祉常任委員会
- 5日 総務教育常任委員会
- 7日 兵庫県町議会議長会議員研究会・議会運営委員研修会 《市川町》
- 9日 美方郡町議会連絡協議会研修会
- 20・21日 第62回町村議会議長全国大会・意見交換会 《東京都》

- 22日 産業建設常任委員会
- 26・29日 平成31年度兵庫県予算等に関する要望 《神戸市》
- 30日 議会運営委員会
- 30日 美方郡広域事務組合議会臨時会

(12月)

- 5・18日 第91回新温泉町議会定例会
- 7日 全員協議会
- 7日 議会広報調査特別委員会
- 7日 環境福祉常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 総務教育常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会



挿し絵 木本博明氏

「出てこい!! 音楽を志す子どもたち!!」

MUSIC LINE (ミュージックライン)

代表者 松井大介

活動内容：地域で音楽活動をする高校生などの若い人達に、発表の場や練習の場を提供しています。その他には、独自のチャリティーコンサートを開催したり、

浜坂商店会納涼祭や京二屋台で音響を担当したりしてします。

いつから…きっかけ：13、14年前に浜坂高校の軽音部をサポートし始めたのがきっかけです。その後、卒業ライブなどでかわった当時の高校生達がメンバーとなり活動が始まりました。

メンバーは…地元で活動を続けているメンバーが10人ほどいます。また、ライブやイベントでは町を離れて音楽活動をしている子供達が、わざわざ帰ってきて手伝ってくれています。



セールのポイント：地元水産会社の協力もあり、練習場所に倉庫を貸していただいているので、しっかりと練習ができる環境と、

大きなホールでも演奏できる機材があります。そして、何よりイベントをサポートできる人の輪に体制でしょうか。

今後の抱負：私たちとのかかわりで、音楽のプロを目指す子どもが地域から育ってくれたらと思います。

皆さんにお願いしたいこと…

単独でのチャリティーコンサートの実績もあります。バンドのライブに限らず、音楽イベント、チャリティーイベントの機会があればお声掛けください。

その他なんでも…バンドをやりたい人、卒業ライブをしたい高校生お手伝いしますよ。

編集後記

皆さま、様々な思いで平成最後の新年をお迎えのことと存じます。

この「議会だより」は、町の政策・予算や条例が決まっていく上での議論のやり取りや決定される経過を公開し、進められる政策や町の方向性を皆さまに問い直すことが目的であると思っております。

そのため、議論が分かれる事案や重要決定事項を皆さまに分りやすく伝えることを意識して紙面づくりしなればならないとも思っています。しかし、暗中模索の感があり、お読みいただいた皆さまから、ご意見をいただくことが最も重要であると感じています。

皆さまのご意見をお待ちしております。

(T・K)

議会広報調査特別委員会

委員長	平澤剛太
副委員長	河越忠志
委員	太田昭宏
	森田善幸
	中井次郎
	重本静男

発行者 議長 中井勝